

2013 年 11 月 20 日

【交流協会台北事務所主催】2013 年度第 1 回中等教育機関日本語教師研修会 報告

長谷川理恵

交流協会台北事務所日本語専門家

1. テーマ 「入門初期の日本語教授法」

10 月 10 日 (木) 五十音学習時期の教授法

10 月 12 日 (土) 五十音学習後、文字習得が不完全な時期の教授法

2. 高校の外国語学習とは

まず、先生方が高校生のころの外国語(英語)の授業を振り返りながら、楽しい授業、良い先生がどうい  
うものか考え、今の自分のクラスと比べてもらいました。日本語の勉強を続けたいという気持ちを学生が持ち  
続けるためには、先生が楽しい魅力的な授業をすることが大切です。文字や文法を覚えることだけが日本語  
の学習ではないことがわかってもらえたと思います。

また、高校生の第二外国語の日本語は、大学生の第二外国語と比べて、授業のやり方も、学生の目的も違  
うということも確認したかった点です。また、高校には必ずしも日本人の先生はいません。台湾人の先生だ  
からできることを最大限に生かした授業はどんな授業かも考えてもらいました。

台湾人の先生方には、まず、日本語の勉強を続けたいと思う楽しい授業を目標にしてほしいです。そして、  
ぜひ学生たちのあこがれの日本語スピーチ大会を目指してほしいと思います。

3. 文字学習のポイント

# 交流協会台北事務所

3-1 意味がある語が覚えやすい

まず、ヒンディー語の文字学習を体験してもらい、覚えやすい教え方を考えました。あいうえおの順に勉  
強するのがとても覚えにくいことがわかったと思います。意味のある単語を勉強しその中の文字を学習する  
方が、文字を覚えやすくなります。

また、かき(柿)、かぎ(鍵)、かいぎ(会議)、など似ている言葉を一度に覚えるのはとても大変です。  
同じときに覚えるためには発音や意味が似ていない単語を選ぶ方が良いでしょう。

有意味語 > 無意味語 非類似 > 類似
-------------------------

3-2 覚えやすく教える順

まず、①の「単語の意味とその発音」は絵カードなどを使用してしっかり練習してください。意味と発音  
がわかると、その単語を表す文字もすぐ読めるようになります。読める文字はすぐ書けるようになります。  
逆にいうと、聞いてわからない単語は、どんなに書く練習をしてもなかなか書けるようになりませんし、時  
間をかけてなんとか覚えてもすぐ忘れます。

- ① 単語の意味とその発音をしっかり覚える。  
教材例：絵カード（漢字カード）  
（聞いてわかるまで聞く練習を十分にしてから、言う練習をします。文字は使いません。）
- ② 単語の意味とその発音がわかってから、単語を表す文字列の読みを覚える。  
教材例：単語の文字のある絵カード  
（まだ文字を書く練習はしません!）
- ③ 単語を構成する一字一字の読み方を覚える。  
教材例：単語の文字だけのカード 一文字のカード  
（ここまでは単語の意味を理解し、耳で聞いてわかることが中心です。  
文字は声に出して読むだけです。書く練習はしません!）
- ④ 単語の意味、単語の読み、ひらがな一字の読みが完全にわかってから、文字を書く練習。

ひらがなができなければ日本語の勉強ができないと思いませんか。もしそうなら、発想の転換をしてください。ひらがなを覚えていなくても簡単な会話や文法は学習できます。

×ひらがな一字 → 単語を表す文字列 → 単語 → 意味 → 発音

◎意味 ⇄ 発音 = 単語 → 単語を表す文字列 → ひらがな一字

公益財団法人

#### 4. 五十音の学習

##### 4-1 おぼえたい単語の

単語の選び方は、あいうえお順にこだわる必要はありません。覚えたい単語から発音と意味を覚えて練習する方法（例：タレントやアニメの名前など）なども紹介しました。カタカナも同じです。

交流協会台北事務所

##### 4-2 発音の簡単な単語を選ぶ

覚えたい単語であっても、発音が難しい単語を練習するときは注意してください。よく聞く単語は難しい発音でもすぐ覚えますし、正しく発音できます。あまり聞いたことがない単語は、発音の簡単な単語から覚えるようにしましょう。

##### 4-3 あいうえおの歌

あいうえおの歌もいろいろありますが、台湾の先生や学生がよく知らない歌が多いので、なかなか教室では練習できません。そこで、ちびまる子ちゃんのテーマソングや日本の歌の「故郷」を使ったあいうえおの歌を練習しました。出席した先生から「娃娃國」「一闪一闪亮晶晶（きらきら星）」「聖誕禮讚（ジングルベル）」などを使ったあいうえおの歌や、インターネット上にあるダンスをしながら覚えるあいうえおの歌などの紹介がありました。

#### 5. ひらがなを書く

##### 手書きの字体

印刷字体は明朝体やゴシック体が大半です。これは手書きの字体と少し違います。そこで、日本の小学校の教科書に掲載されている手書きのひらがな・カタカナを紹介しました。また、先生方にもひらがな・カタ

カナを練習してもらいました。

#### ○参考図書

小学校 1 年生用国語教科書 教育出版 光村図書など  
Japanese for young people Kana Workbook 講談社

### 6. カタカナ語

聞いてわかる・読んでわかる

旧日本語能力試験出題基準の 4 級（だいたい現在の N5 レベル）のカタカナ語彙リストを見てみました。よく見ると、カタカナの五十音が全部出てくるわけではありません。高校の第二外国語のレベルでは、アイウエオを全部を覚えなくてもいいですし、書けなくてもかまいません。単語を見てその意味がわかり、発音できれば十分でしょう。

高校生にとって最初に大切なのは、「聞いてわかること」と「読んでわかること」です。今カタカナが書けなくても日本語は上手になります。

### 7. その他 常用漢字、漢字語

今回のポイントではありませんが、常用漢字について、また、地名などの常用漢字にない字の読み方などについても説明しました。

#### ○参考図書

2011 三省堂編修所編 新しい国語表記ハンドブック 三省堂  
2011 文化庁 新訂公用文の書き表し方の基準 第一法規  
2010 文化庁 常用漢字表 ぎょうせい

### 8. 教室活動

日本語の学習は、「慣れる」→「わかる」→「おぼえる」→「使う」という段階で進んでいきます。各段階ごとに教室活動が必要です。

#### 8-1 慣れる

日本語に慣れるというのは、正しい日本語をたくさん聞くこと、たくさん見る（読む）ことです。初めから無理に発音させたり、書かせたりするのは効果的ではありません。理解しているかを確認するために、記号で答えたり、正しいものを指し示すなどの方法もあります。

アニメやドラマを見るのも無駄ではありません。日本人の来るイベントに連れて行ってもいいでしょう。授業の時間はとても短いので、「慣れる」ための機会を積極的に紹介するだけでもいいと思います。

また、先生が話す日本語にはまだ勉強していない文法が少し入っていてもかまいません。学生が 1 語文を使うレベルのとき、先生は 2 語文で質問するなど、普段の授業も「慣れる」ために活用してください。

## 8-2 わかる

わかるように説明するためにもいろいろな方法があります。単語のレベルであれば絵カードや、漢字を使うのもいいでしょう。ですが、「わかる」ための説明よりも「おぼえる」ための練習や、「忘れない」ための復習の練習を重視しましょう。

習うより慣れろ  
説明<練習

今回は文字学習がテーマなので、文法を説明する方法はほとんど話しませんでした。文法を教えるときも同じです。文法の説明に集中しすぎないようにしてください。

## 8-3 おぼえる

飽きないように繰り返す

おぼえないから、練習が足りないからといって、同じ練習を繰り返すと、単調になり、飽きてしまいます。覚えなければならない内容が同じでも、学生同士、グループで、クラス全体で、など、構成を変えてみてはどうでしょう。言う練習と聞く練習を組み合わせてもいいでしょう。

同じ練習は2~3分、長くても5分、早いスピードで変えましょう。たとえば、ABCの3種類の練習をしたいとき、5分の練習×1回ずつで飽きるのなら、2分の練習をABCABCと繰り返してみてもいいでしょう。同じ内容を覚えるための練習は形式などを変えても全部で20分以上は続けないほうがいいと思います。

また、ある一日に10回練習するよりも、3回ずつ3日に分けて練習するほうが、外国語の学習では効果的です。同じ内容を覚えるために何回も練習しなければなりません。飽きないように何回も練習するためには、すこし工夫が必要です。

公益財団法人  
交流協会台北事務所

## 8-4 「忘れる」前に

「おぼえる」のは簡単なのですが、みな「忘れる」んです。忘れないためには復習です。そこで、復習しながら少しずつ新しいことを勉強していく方法を紹介しました。

復習のパターン

1日目	A								
2日目	A	B							
3日目	A	B	C						
4日目	A	B	C	D					
5日目		B	C	D	E				
6日目			C	D	E	F	OO	が復習の部分です	

## 8-5 つかう

授業の初めにその日の目標「\_\_\_\_\_ができるようになる」を学生に示し、そのための活動を考えていきましょう。小さいことでもかまいません、できなかったことができるのはうれしいものです。日本語を勉強した！という満足感・充実感があれば、動機も維持されるはず。とくに1年目は、単語や、一語文（はい。そうです。食べます。ちがいます。など）が言えれば十分です。とても短い会話（たとえば、あいさつだけの会話、一語文だけの会話）を勉強して、どんどん使ってみましょう。

○参考図書

国際交流基金 アニメ・マンガの日本語 <http://www.anime-manga.jp/>

国際交流基金 エリンが挑戦！にほんごできます <http://erin.ne.jp/>

国際交流基金 みんなの Can-do サイト <http://jfstandard.jp/cando/top/ja/render.do>

2011 島田和子監修 できる日本語初級 アルク

2012 国際文化フォーラム 外国語学習のめやす

8-6 文法を教える

「最初の授業」のビデオをいくつか見てもらいました。文字がまだわからない学生に、記号を使って文法を教える方法、ボールを利用してペアやグループでの練習をする方法などがありました。ひらがなができなくても、文法や文型も教えられるのがわかったでしょうか。

9. おわりに

文法知識よりも好奇心

日本で生まれ育った子供は小学校に入る前に日本語が話せるようになっています。ひらがなを読んだり書いたりできなくても、日本語ができるようになります。日本語を覚えるとき、文字を覚えるよりも、意味と発音を覚える方が早いのです。若ければ若いほどこの傾向が強いです。ですが、読んだり書いたりできなければ、日本語学科を卒業したり、日本語を使った仕事ができるようにはならないでしょう。初めて日本語を勉強する高校の第二外国語で必要なのは、日本や日本語が面白い、もっと知りたい、と学生たちが感じるような教育、将来もう一度日本語を勉強したくなる教育、ではないでしょうか。日本語の勉強がどんどん難しくなっても負けないぐらいの「好奇心」を育ててほしいです。

公益財団法人  
交流協会台北事務所

以上